

主催事業

事業名	対象	内容	日程	問合せ先
干潟観察会	どなたでも (小学生以下は保護者同伴)	干潟に入り、生きもの観察をしてその生態を学びます。	5月3日(土) 5月15日(木)	①
干潟を音であそぼ!	どなたでも (小学生以下は保護者同伴)	干潟と音楽を組み合わせたイベント [演奏者: パーカッショニスト 本多 "taco-bow" 正典さん]	8月2日(土)	①
ひがたにくるトリ、どんなトリ?	小学1~3年生 (保護者同伴) ※11月22日(土)はどなたでも (小学生以下は保護者同伴)	野鳥観察をした後、カモのミニ模型へ色ぬりをします。 [講師: ハンドメイド作家 Cha Chattoさん]	8月6日(水) 8月8日(金) 11月22日(土)	①
藤前干潟サイエンスカフェ	小学4年生~大人 (小学生は保護者同伴)	ウナギの専門家をお呼びしてお話を聞きます	夏休み	①
藤前干潟フォトコンテスト	どなたでも	Instagramで藤前干潟の写真を募集!	9月1日(月)~ 9月30日(火)	①
干潟の人気者 カニとトビハゼに会おう!	どなたでも (小学生以下は保護者同伴)	ヨシ原の中に入って、生きものを観察してその生態を学びます。	9月21日(日) 10月19日(日)	①
藤前干潟スタンプラリー	どなたでも	藤前干潟に関する施設を回って景品ゲット!	11月1日(土)~ 11月30日(日)	①
歩いて探して バードウォッチング	どなたでも (小学生以下は保護者同伴)	バードウォッチングにウォーキングを併せたイベント	2月1日(日)	①
今日からはじめる バードウォッチング	どなたでも (小学生以下は保護者同伴)	鳥のガイドさんと一緒に野鳥観察を楽しもう	2月14日(土)	①

協力事業

事業名	日程	主催	問合せ先
'25 春の藤前干潟クリーン大作戦	5月24日(土)	藤前干潟クリーン大作戦実行委員会	③
'25 秋の藤前干潟クリーン大作戦	10月18日(土)	藤前干潟クリーン大作戦実行委員会	③

パートナーシップ事業

事業名	日程	主催・問合せ先
生きものまつり	4月29日(火・祝)	NPO法人藤前干潟を守る会 ④
渡り鳥調査隊~コアジサシを見よう~	5月10日(土)	NPO法人藤前干潟を守る会/名古屋市野鳥観察館 ④⑧
コアジサシのデコイに色付けしよう	5月10日(土)	稲永ビジターセンター/名古屋市野鳥観察館 ⑦⑧
カニウォッチング&ビーチクリーンアップ	5月17日(土)	稲永ビジターセンター ⑦
愛岐の里山たいけん隊	5月17日(土)・8月7日(木)・11月8日(土)	「なごや環境大学」実行委員会 ⑤
企画展「ウナギ展」	6月1日(日)~11月30日(日)	稲永ビジターセンター ⑦
企画展「干潟の危険生物」	7月~12月(予定)	藤前干潟活動センター ⑥
渡り鳥調査隊とコアジサシのデコイ塗り	8月9日(土)	NPO法人藤前干潟を守る会/名古屋市野鳥観察館 ④⑧
「夏休み干潟観察会~干潟の泥をくらべてみよう~」	8月23日(土)	藤前干潟活動センター ⑥
「石ころ干潟観察会~カニを観察してみよう!~」	10月19日(日)	藤前干潟活動センター ⑥
渡り鳥調査隊とヨシのクラフト	12月6日(土)	NPO法人藤前干潟を守る会/名古屋市野鳥観察館 ④⑧
渡り鳥調査隊とカモのデコイ塗り	1月17日(土)	NPO法人藤前干潟を守る会/名古屋市野鳥観察館 ④⑧
第12回ごみと水を考える集い	2月頃	藤前干潟クリーン大作戦実行委員会 ③
渡り鳥調査隊とカモの足型とり	2月28日(土)	NPO法人藤前干潟を守る会/名古屋市野鳥観察館 ④⑧
渡り鳥調査隊~藤前干潟の野鳥を観察しよう~	4月26日(土)・6月7日(土)・ 7月26日(土)・9月20日(土)・ 10月4日(土)・11月1日(土)・ 3月28日(土)	名古屋市野鳥観察館 ⑧
アクティブ・レンジャー写真展 ①名古屋銀行 本店 ②東邦ガス ガスエネルギー館 ③中日ビル 全国センター広場 ④愛知県図書館 1階Yotteko(ヨッテコ)コーナー	①7月12日(土)~8月4日(月) ②8月8日(金)~8月26日(火) ③9月2日(火)~9月9日(火) ④9月12日(金)~10月8日(水)	環境省名古屋自然保護官事務所 ②

問合せ先	電話	休館日	開館時間	Eメール
① 藤前干潟ふれあい事業実行委員会事務局 (名古屋市環境学習センター内)	052-223-1067	月曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始	9:30~17:00	a2662@kankyokiyoku.city.nagoya.lg.jp
② 環境省名古屋自然保護官事務所	052-389-2877	土・日曜日、祝日 年末年始	8:30~17:15	WB-NAGOYA@env.go.jp
③ 藤前干潟クリーン大作戦 実行委員会事務局	090-6399-9774	—	—	cleanupfujimae@gmail.com
④ NPO法人 藤前干潟を守る会	080-5157-2002	—	—	info@fujimae.org
⑤ 「なごや環境大学」実行委員会事務局	052-223-1223	月曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始	9:30~17:00	jimu@n-kd.jp
藤前干潟周辺の施設	電話	休館日	開館時間	Eメール

⑥ 藤前干潟活動センター	052-309-7260	環境省藤前干潟HPをご確認ください。 	9:00~16:30	—
⑦ 稲永ビジターセンター	052-389-5821	月曜日(祝日の場合は翌平日) 第3水曜日(祝日の場合は第4水曜日) 年末年始	9:00~16:30	—
⑧ 名古屋市野鳥観察館	052-381-0160	—	9:00~16:30	nagoya.kansatukan@car.ocn.ne.jp

2025年度!

みて! ふれて! かんじる!

# 藤前干潟ふれあい事業



みて! ふれて! かんじる!  
藤前干潟ふれあい事業

ぜひ 藤前干潟に足を  
お運びください♪



藤前干潟の魅力を皆さんに  
お伝えたくて  
名古屋市、環境省、愛知県、NPO等が  
協力して様々なイベントを  
行っています!

名古屋市は2025年1月、  
「ラムサール条約湿地都市」  
として認証されました!



お問い合わせ先  
藤前干潟ふれあい事業実行委員会  
(事務局:名古屋市環境学習センター)

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号  
伏見ライフプラザ13階 名古屋市環境学習センター内

TEL 052-223-1067 FAX 052-223-4199  
Eメール a2662@kankyokiyoku.city.nagoya.lg.jp  
藤前干潟ふれあい事業 検索



# 藤前干潟ふれあい事業とは？

生きもの豊かな藤前干潟の重要性を伝えるため、行政やNPOなどが協働してさまざまな活動を行っています。ぜひ皆さん藤前干潟に遊びに来てください！

## ブース出展・展示



色々な会場でのブース出展や、藤前干潟写真展などの展示を行いました。



## 野鳥観察



季節によってかわる様々な種類や姿の鳥を観察しました。

## ワークショップ



カモの模型に色を塗ったり、音楽の演奏をしてみたり！いろいろな体験とおして藤前干潟とふれあいました。



## 講演



ヤドカリの専門家をお呼びして楽しいお話をお聞きました。



## スタンプラリー

藤前干潟に関する施設を回って景品ゲット！



## 初開催！！

## 「ラムサール条約湿地都市」認証記念！水中ドローンを使った水中観察会

水中ドローンを操縦して藤前干潟の水中を観察し、藤前干潟の課題について考え話し合いました。



## 2024年度の

# イベントの様子をのぞいてみよう！

## 干潟体験



たくさんの干潟の生きものと出会うことができました！今年は何んな生き物に出会えるのでしょうか？



## 藤前干潟の絵本ができました！

藤前干潟の魅力がたっぷり詰まっています！名古屋環境学習センター、稲永ビジターセンター、藤前干潟活動センター、名古屋野鳥観察館に展示しています。ぜひ読みに来てね！

## 藤前干潟ふれあい事業 Instagramアカウント！

藤前干潟に関する情報やイベント内容について発信します！みなさんのフォロー、いいね！、シェアをお待ちしております！



## 藤前干潟ふれあい事業 YouTubeチャンネル！



YouTubeで藤前干潟ふれあい事業でのイベントの様子やここでしか見られない様々なコンテンツを用意しています！ぜひチェックしてみてください！



# 藤前干潟の歴史

～守られた干潟を未来へつなぐ～



その昔、伊勢湾の奥には広大な干潟が広がっていました。しかし工業用地としての利用や大規模干拓で埋立が進み、最後に残らうじて残されたのが藤前干潟です。

しかし、その残されたわずかな干潟にも埋立の危機が訪れます。ごみの埋立処分場とする計画が発表されたのです。

当時の名古屋市は年々ごみが増え続けていて、今まで使用していた埋立処分場ではもうわずか数年で埋める場所が足りなくなってしまうと予想されたため、新しい埋立場所が必要となっていたのです。

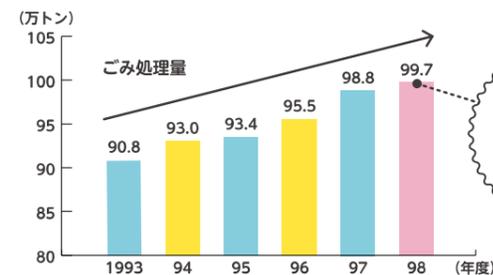
それでも、藤前干潟は渡り鳥をはじめ多くの生きものが生息する大切な場所であったため、守る必要があるとの市民の声が高まりました。

名古屋市は悩みぬいた結果、「ごみの処理も渡り鳥もどちらも大切」として、1999年1月に埋立計画を中止し、2月にごみを大幅に減らすことを呼びかける「ごみ非常事態宣言」を出しました。

そこから市民、事業者、行政が一体となり、名古屋市の人々が力を合わせて徹底的な分別・リサイクルに取り組んだ結果、今では埋立量を10分の1以上に減らすことができました。



点線：埋立て前の海岸線 ピンク：干潟



焼却・埋立処理能力の限界

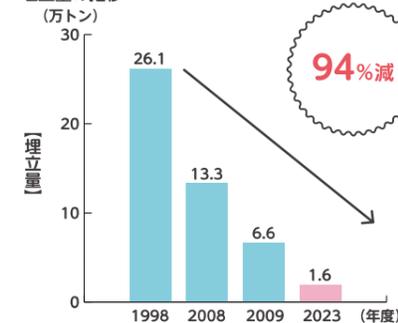
## ごみ集積場所



## 愛岐処分場



## 埋立量の推移



94%減

# ラムサール条約湿地 藤前干潟

ラムサール条約は1971年2月2日にイランの都市ラムサルにて開催された国際会議で採択された、正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」と呼ばれている条約です。多くの人々の協力のもとに守られた、渡り鳥の重要な飛来地である藤前干潟は2002年11月18日にラムサール条約に登録されました。これからも引き続き藤前干潟を守るため、名古屋の環境のため、一人ひとりが分別・リサイクルなどの環境を守る活動に取り組むことが大切です。

